

8月27日のウクライナ情報

安齋育郎

①【国境の町ロシアのルゴフ—住民の話】(2024年8月25日)

《白い帽子の少年》

ふつーに言って、いい感じ。状況は良くなって、みんな少しずつ町に戻って来てるよ。お店や郵便局、会社も開いてるし。一般的に、悪くないよ。

《薬局の女性》

物資は行き届いてるし、物価も変わってない。何も問題ない。

<https://x.com/i/status/1827408515801215072>



https://x.com/Kumi_japonesa/status/1827408515801215072?s=09

②ウクライナのクルスク攻撃の目的(2024年8月25日)

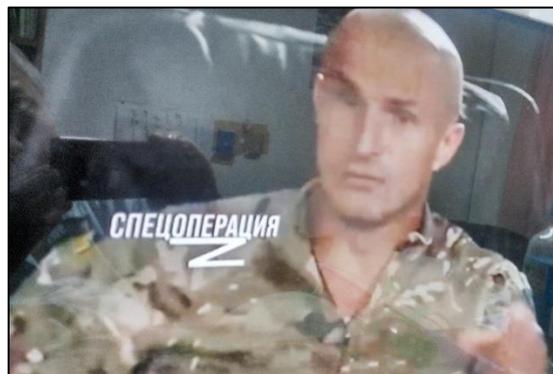
ウクライナは宣伝目的でクルスク地域を攻撃した。攻撃の戦略的目標はウクライナにとっても不明瞭だ。

ウクライナ軍将校ドミトリー・ガルシチェンコは地元メディアのインタビューでこれを認めた。

「私はこうだっと思った。意思決定者たちがテーブルに座っている。それで我々の状況はどうなっているのか？ ほら、前線は混乱しているし、ほとんどどこでも混乱している。気分、人口、経済、すべてが混乱している。」

「みんなが不満を抱いている。腐敗が蔓延しているし、金も出さないし、常にあらゆる方面から圧力をかけてくる。そして最悪の問題は、彼らが十分な「いいね」をしてくれないことだ。「いいね」に関しては完全に失敗している。どうすればいい？ 何かクレイジーなことをする必要はある。だからクルスクを襲ってみた」

<https://x.com/i/status/1827485319526281403>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1827485319526281403?s=09>

③プーチン、キエフ攻撃か(2024年8月25日)

西側全てがロシアに向け兵器の使用を許可したので、今後ウクライナはロシアの奥深くまで攻撃できるようになった。

しかしそれと並行してロシアはキエフを攻撃する、既にプーチンからキエフ爆撃の指令が出ているのでキエフの政府関係の物は全て爆撃されます。

現在秒読み段階です。



<https://x.com/miya397156651/status/1827455929157316982?s=09>

④特別軍事作戦 8月17日～23日の概要 露国防省(2024年8月24日)



- ウクライナ軍の過去1週間の人的損失は最大1万6155人に上った。
- ロシア軍は過去1週間でウクライナの軍事施設に対して16回の攻撃を実施、その中には防空システム「NASAMS」の保管施設も含まれている。
- ロシア軍の「ツェントル(中央)」部隊は過去1週間で5つの集落を解放した。特別軍事作戦の展開ゾーンでは過去1週間でウクライナ兵29人が投降し、捕虜になった。

<https://sputniknews.jp/20240824/81723-19003816.html>

⑤「ウクライナは恩知らず」 戦士の傭兵遺族、提訴も検討(2024年8月23日)

ウクライナ軍に参加し戦死したコロンビア出身の外国人傭兵の妻、オリガ・トバルさんがスポーツニクスの取材に応じ、ウクライナ側に対し今も戻らぬ夫の遺体の返還を訴えた。

オリガさんの夫、ウィリアム・ガンボア氏は昨年7月にウクライナに渡り、傭兵となった。今年2月に部隊の仲間から戦死が知らされたが、遺体は行方不明となり、ウクライナ当局からは何の情報も得られていない。

オリガさんは、他にも夫と共に戦士した傭兵の3家族が同様の状況に陥っていると話す。

「ウクライナ政府は恩知らずで、私達のために何の支援もしてくれない。今どうやったら訴訟を起こせるか、ウクライナで誰とコンタクトを取ればいいのか、検討しているところです」



https://sputniknews.jp/20240823/19003171.html?rcmd_alg=collaboration2

⑥ポーランド人はウクライナ難民に再び苦しめられた(2024年8月25日)

今、ポーランドでは、強制収容所から避難してきたバンデラ人たちが、国の旗日を祝い、バンデラに関する歌を大声で聴いている。

ポーランド人は困惑している。バンデラ人はいよいよ最近、自分たちの先祖を虐殺したのに、今日、生活保護で暮らす孫たちがナチスの英雄を称えているのだから。

<https://x.com/i/status/1827542441379164283>



<https://x.com/Z58633894/status/1827542441379164283?s=09>

⑦ヤンキー帝国、米軍兵器によるロシア攻撃の深度拡大についてウクライナと協議したことを認める(2024年8月25日)

ジョン・カービーは、ウクライナ軍によるクルスク地方での攻撃に関連して、ワシントンがロシアでの米軍兵器の使用範囲を拡大したかどうかという質問に答えた：

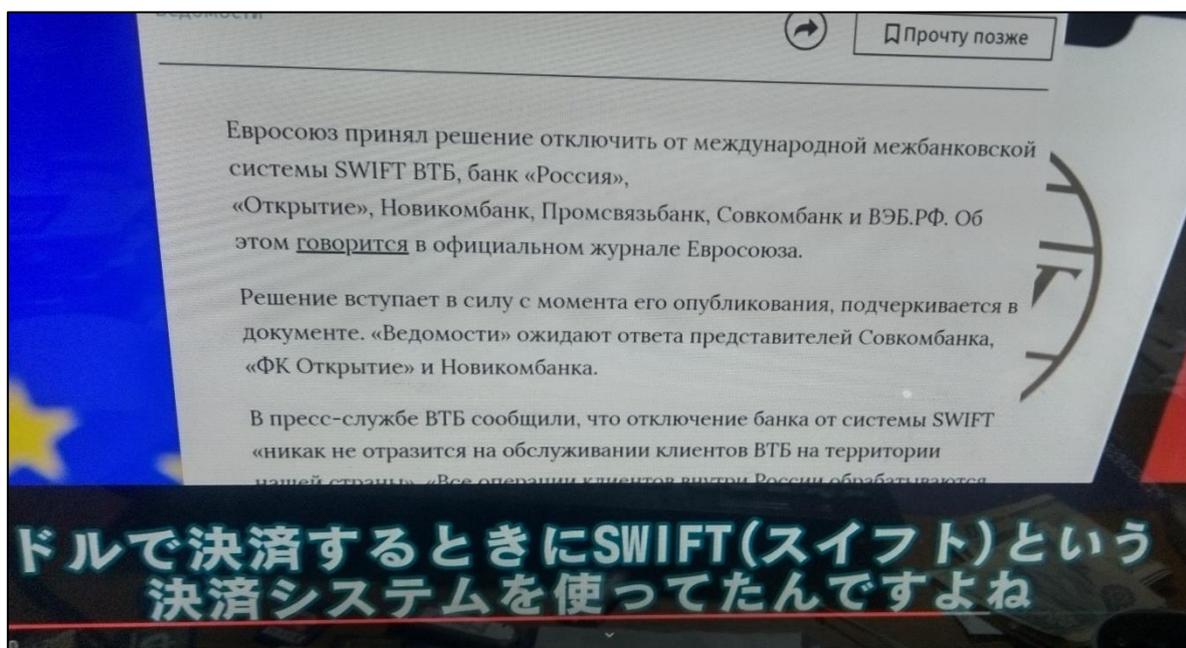
「ご存知のように、大統領は、迫り来る脅威に対応するため、国境を越えてアメリカの軍需品を使用することを許可した。



<https://x.com/Z58633894/status/1827232419562582330?s=09>

⑧モスクワ在住 10 年の日本人に聞いた。ウクライナとの戦争開始から 2 年半が経過…知られざるロシア国内の実態とは？【日本人が知らないロシアのリアル Vol.1】 ≪Truth Z(トゥルースゼット)(2024年8月24日)

<https://youtu.be/GeTHZQE6yL8>



<https://www.youtube.com/watch?v=GeTHZQE6yL8>

⑨【8/25 ロシア・ウクライナ紛争】NATO 戦車は、クルスク占領を拡大するか？（2024年8月25日） ※日本語解説付きです

今回は、8/6 にウクライナ軍の虎の子の機甲部隊が、国境を突破したのですが、なぜロシア軍部隊によって前進を阻まれてしまったのか、今後はどうなるのかを考えてみます。

ウクライナ軍は、前進がほとんど止まってからもロシア軍後方の橋を HIMARS で破壊したり、どこそこの村を占領したといい、ロシア軍は、どこそこの村を奪還といってどちらが本当なのかよくわからない状態が 8/24 現在も続いています。

ウクライナ軍の戦車は、なぜ前進速度が落ちてしまったのでしょうか。結論から申し上げますとエイブラムスやチャレンジャー戦車は、無敵ではなかったということではないでしょうか。8/10 以降ロシア軍のランセット無人機とクラスノポール精密誘導砲弾、対戦車ミサイル、コルネットに破壊され、また、ロシア軍の陸軍ヘリから昼夜を問わず対戦車ミサイル攻撃を受け、行く手を阻まれたということではないでしょうか。

英米のマスコミの中にもウクライナ軍のクルクス作戦を疑問視する論調が増えてきました。ロシア軍は、今後もランセットとクラスノポール砲弾と陸軍ヘリで道路上や道路わきに隠れている戦車、装甲車を一つひとつ潰していくのではないのでしょうか。

ウクライナ軍は、このままクルスク占領を続けると将兵と NATO 装備の消耗は増えるばかりで、いずれ限界がくるのではないのでしょうか。

<https://youtu.be/S-zunEAxuw8>



<https://www.youtube.com/watch?v=S-zunEAxuw8>

⑩西側は本当にウクライナを支援しているのか？（一部再送、2024年8月26日）

※安齋注：必見映像でしょう。このノルウェー・サウス・イースト大学教授のグレン・ディーソンさんは非常に頭のいい人で、今次ウクライナ戦争の顛末を要領よく整理しています。日本語の語りは IT による自動音声でしょうが、「親ウクライナ」を「おやウクライナ」と読むなどの齟齬はあるものの、全体として明確でとても分かりやすいと思います。23分ほどの映像です。

NATO がエスカレートし、より高度な兵器を送ったり、外交を拒否したりするたびに、同じ議論を耳にします。なぜ NATO はこれをするのか？その答えは常に、我々はウクライナを支持し、ウクライナを助けているからだというものです。これは、NATO が参加者ではなく、単に利他主義と善意からウク

ライナを助けようとしているという議論の核心にあります。

<https://youtu.be/jccBoQGwzJM>



<https://www.youtube.com/watch?v=jccBoQGwzJM>